本文

第5565号

官報　第五五六五號　昭和二十年八月一日　水曜日

官報

昭和二十年八月一日
第五千五百六十五號　水曜日

勅令

朕高松控訴院ノ設立等ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和二十年七月三十一日

内閣總理大臣　男爵　鈴木貫太郎
司法大臣　松阪廣政

勅令第四百四十三號

高松市ニ控訴院ヲ置キ之ヲ高松控訴院ト稱シ高松地方裁判所、德島地方裁判所、高知地方裁判所及松山地方裁判所ノ管轄區域ヲ各其ノ所屬控訴院ノ管轄區域ヨリ除キ高松控訴院ノ管轄區域ニ屬セシム

長崎控訴院ヲ福岡市ニ移シ福岡控訴院ト稱ス

靜岡地方裁判所ノ管轄區域ヲ東京控訴院ノ管轄區域ヨリ除キ名古屋控訴院ノ管轄區域ニ屬セシム

福井地方裁判所ノ管轄區域ヲ名古屋控訴院ノ管轄區域ヨリ除キ大阪控訴院ノ管轄區域ニ屬セシム

附則

本令ハ昭和二十年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前東京控訴院、大阪控訴院、名古屋控訴院及廣島控訴院ニ於テ受理シタル事件ハ各其ノ控訴院ニ於テ之ヲ完結ス

朕裁判所職員定員令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和二十年七月三十一日

内閣總理大臣　男爵　鈴木貫太郎
司法大臣　松阪廣政

勅令第四百四十四號

裁判所職員定員令中左ノ通改正ス

第一條第一項中「長　勅任　七人」ヲ「長　勅任　八人」ニ、「檢事長　勅任　七人」ヲ「檢事長　勅任　八人」ニ、同條第二項中「十五人」ヲ「十七人」ニ改ム

第二條中「書記長　百十九人」ヲ「書記長　百二十一人」ニ改ム

附則

本令ハ昭和二十年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

朕地質調査所官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和二十年七月三十一日

内閣總理大臣　男爵　鈴木貫太郎
軍需大臣　豐田貞次郎

勅令第四百四十五號

地質調査所官制中左ノ通改正ス

「地質調査所官制」ヲ「地下資源調査所官制」ニ改ム

第一條中「地質調査所」ヲ「地下資源調査所」ニ、「地質調査（鑛床及水脈ノ調査ヲ含ム）」ヲ「地下資源ノ調査其ノ他地質ノ調査」ニ改ム

第二條中「地質調査所」ヲ「地下資源調査所」ニ改ム

第七條　軍需大臣ハ必要ト認ムル地ニ地下資源調査所ノ出張所ヲ置キ本所ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ地質調査所技師、地質調査所技手ノ職ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ各地下資源調査所技師、地下資源調査所技手ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

所屬又ハ地下資源調査所技手ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

本令施行ノ際現ニ地質調査所職員ニシテ休職中ノモノ別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ休職ノ儘前項ノ例ニ依リ地下資源調査所職員ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

前二項ノ規定ハ文官任用ノ資格ニ關スル規定ノ適用ヲ妨ゲズ

朕軍需部內臨時職員等設置制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和二十年七月三十一日

内閣總理大臣　男爵　鈴木貫太郎
軍需大臣　豐田貞次郎

勅令第四百四十六號

軍需部內臨時職員等設置制中左ノ通改正ス

「地質調査所」ヲ「地下資源調査所」ニ改メ同條ニ左ノ一號ヲ加フ

六　地下資源ノ緊急調査ニ關スル事務ニ從事スル者

技師　專任二十三人
屬　專任三人
技手　專任三十五人

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕運輸省官制及昭和二十年勅令第十號運輸大臣ニ於テ委託ニ依リ隧道其ノ他ノ地下構築物ノ建設ヲ爲ス等ノ件中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和二十年七月三十一日

内閣總理大臣　男爵　鈴木貫太郎
運輸大臣　小日山直登

勅令第四百四十七號

第一條　運輸省官制中左ノ通改正ス

第二十四條第一項中「鐵道官專任千七百四十六人」ヲ「鐵道官專任千七百四十四人」ニ改ム

第二條　昭和二十年勅令第十號中左ノ通改正ス

「事務官　專任五人
技師　專任十七人　內一人ヲ專任四十八人
專任百四十八人
屬　專任二人
技手　專任十四人
「事務官　專任二人
理事官　專任十四人
技師　專任五十五
屬　專任百五十
技手　專任四百八
」

第三項中

「事務官　專任五人
技師　專任十七人　內一人ヲ專任四十八人
專任百四十八人
屬　專任二人
技手　專任十四人
」

勅任ト爲スコトヲ得ヲ勅任ト爲スコトヲ得ニ改ム

內三人ヲ勅任ト爲スコトヲ得ヲ勅任ト爲スコトヲ得ニ改ム

二人

十人

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕燃料局特別會計規則外三勅令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和二十年七月三十一日

内閣總理大臣　男爵　鈴木貫太郎
軍需大臣　豐田貞次郎
大藏大臣　廣瀨豐作
內務大臣　安倍源基

勅令第四百四十八號

第一條　燃料局特別會計規則中左ノ通改正ス

第四條中「並ニ研究所、地方燃料局ノ工場、地方燃料局支局、地方燃料局出張所及地方燃料局支局出張所ニ」ヲ「醱酵研究所ノ經費並ニ地方軍需監理局ノ支局、出張所及工場」ニ改ム

第二條　石油專賣法施行令中左ノ通改正ス

第二條中「地方燃料局」ヲ「地方軍需監理局」ニ改ム

第三條中「地方燃料局長」ヲ「地方軍需監理局長官」ニ改ム

第三條　明治四十年勅令第三百十一號中左ノ通改正ス

第一項中「地方燃料局長」ヲ「地方軍需監理局長官」ニ改ム

第四條　昭和十七年勅令第八百二十一號中左ノ通改正ス

第二項中「地方燃料局」ヲ「地方軍需監理局」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十五年三月二十一日
第三種郵便物認可

第 5565 號

本文

勅令第四百四十九號

昭和十九年勅令第二百六十八號（昭和十九年法律第四號經濟關係罰則ノ整備ニ關スル法律ニ基ク經濟團體指定ニ關スル件）中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和二十年七月三十一日

内閣總理大臣　男爵　鈴木貫太郎
司法大臣　松阪廣政
内務大臣　安倍源基

勅令第四百四十九號

昭和十九年勅令第二百六十八號中左ノ通改正ス

第一條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三　削除

第二條中第六十三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

八十三ノ二　南日本汽船株式會社

第三條第一號中「第一號乃至第三號」ヲ「第一號、第二號」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二條ノ改正規定ハ昭和二十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條及第三條ノ改正規定施行前爲シタル行爲ノ處罰ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

省令

◎内務省令第六號

戰時權災土地物件令ハ左ノ地區ニ之ヲ適用ス

昭和二十年八月一日　内務大臣　安倍源基
司法大臣　松阪廣政

北海道　根室市、函館市
愛媛縣　松山市
山口縣　德山市
愛知縣　一宮市
青森縣　青森市
三重縣　津市、宇治山田市
岐阜縣　大垣市

◎農商省令第三十二號

農商省工場事業場管理令施行規則中左ノ通改正ス

昭和二十年八月一日　農商大臣　石黒　忠篤

第一條、左ノ但書ヲ加フ

但シ當該事項ガ他ノ法令ノ規定ニ依リ農商大臣ノ許可又ハ認可ヲ受クベキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六條ニ後段トシテ左ノ如ク加フ

他ノ法令ノ規定ニ依リ行政官廳ニ對シ許可若ハ認可ノ申請ヲ爲シ又ハ報告若ハ屆出ヲ爲サントスルトキ亦同ジ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎軍需省令第三十一號

鑛金法施行規則外十二省令中左ノ通改正ス

昭和二十年八月一日　軍需大臣　豊田貞次郎

第一條　鑛業法施行規則中左ノ通改正ス

第一條　第三項及第二條第三項ヲ削ル

第三條　削除

第六條第三項ヲ削ル

第十條　削除

第二十五條　削除

第二十六條中「第三條」及「、第二十三條」ヲ削ル

第二條　鑛業法施行細則中左ノ通改正ス

第四十三條　削除

第七十一條ノ二中「第四十三條」ヲ「第四十二條」ニ改ム

第三條　中左ノ通改正ス

第十七條　削除

第二十條　削除

第二十一條　削除

第四條　輕金屬製造事業法施行規則中左ノ通改正ス

第十四條　削除

第十七條　削除

第三十五條　削除

第三十六條　削除

第三十七條　削除

第三十八條　削除

第三十九條　削除

第四十二條　削除

第四十三條　削除

第四十六條　削除

第四十七條　削除

第四十八條　削除

第四十九條　削除

第五十條　削除

第五十一條　削除

第五十二條　削除

第五十三條　削除

第五十四條　削除

第五十五條　有機合成事業法施行規則中左ノ通改正ス

第十三條　削除

第十六條　削除

第六條　石油業法施行規則中左ノ通改正ス

第三條　削除

第七條　人造石油製造事業法施行規則中左ノ通改正ス

第三條　削除

第七條　削除

第二十條　削除

第二十三條　製鐵事業法施行規則中左ノ通改正ス

第八條　削除

第二十六條第二項ヲ削ル

第二十八條　製鋼事業法施行規則中左ノ通改正ス

第九條　航空機製造事業法施行規則中左ノ通改正ス

第十條　削除

第十一條第一項但書及同條第二項ヲ削ル

第十二條　削除

第二十五條乃至第二十七條　削除

第十八條　電氣事業法施行規則中左ノ通改正ス

「軍需監理部長」ヲ「地方軍需監理局長官」ニ改ム

「所轄軍需監理部長」ヲ「所轄地方軍需監理局長官」ニ改ム

第十一條第一項中「軍需大臣」ヲ「地方軍需監理局長官」ニ改ム

第十二條及第五十四條第二項中「所轄地方軍需監理局長官」ヲ「地方軍需監理局長官」ニ改ム

第五十六條　削除

第六十七條中「軍需大臣」ヲ「所轄地方軍需監理局長官」ニ改ム

第七十二條　削除

ノ故障又ハ其ノ他ノ事故ヲ生ジタル場合ニ於テハ直ニ電信、電話其ノ他ノ方法ニ依リ第一監理局長官、所轄地方長官及所轄警察官署ニ付テハ所轄地方軍需監理局ノモノニ付テハ豫メ農商大臣ニ報告スベシ

第七十三條　重要鑛物增産法施行規則中左ノ通改正ス

第一條ノ二第二項第二號中「及收支」ヲ削リ同條同項第四號中「及登記簿謄本」ヲ削ル

第七條ノ十第二項第七號中「及登記簿謄本」ヲ削ル

第八條　附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

訓令

◎農商省訓令第三號

都廳府縣

煉粉乳工場管理事務取扱規程左ノ通定メ昭和二十年八月一日ヨリ之ヲ實施ス

農商大臣　石黒　忠篤

煉粉乳工場管理事務取扱規程

第一條　煉粉乳工場管理事務ハ農商省工場事業場管理令（以下令ト稱ス）及農商省工場事業場管理令施行規則（以下規則ト稱ス）ニ依リ農商大臣ノ煉粉乳工場（以下管理工場ト稱ス）ノ管理事務ノ取扱ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本規程ニ定ムル所ニ依ル

第二條　煉粉乳工場ノ管理ハ煉粉乳ノ計畫生産ヲ達成スル爲管理工場ノ生産條件ヲ改善ス

第三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第三十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第三十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第三十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第三十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第三十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第三十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第三十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第三十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第三十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第三十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第四十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第四十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第四十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第四十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第四十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第四十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第四十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第四十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第四十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第四十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第五十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第五十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第五十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第五十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第五十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第五十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第五十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第五十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第五十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第五十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第六十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第六十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第六十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第六十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第六十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第六十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第六十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第六十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第六十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第六十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第七十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第七十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第七十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第七十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第七十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第七十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第七十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第七十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第七十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第七十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第八十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第八十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第八十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第八十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第八十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第八十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第八十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第八十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第八十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第八十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第九十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第九十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第九十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第九十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第九十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第九十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第九十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第九十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第九十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第九十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百二十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百二十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百二十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百二十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百二十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百二十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百二十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百二十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百二十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百二十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百三十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百三十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百三十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百三十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百三十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百三十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百三十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百三十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百三十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百三十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百四十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百四十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百四十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百四十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百四十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百四十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百四十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百四十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百四十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百四十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百五十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百五十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百五十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百五十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百五十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百五十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百五十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百五十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百五十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百五十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百六十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百六十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百六十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百六十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百六十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百六十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百六十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百六十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百六十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百六十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百七十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百七十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百七十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百七十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百七十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百七十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百七十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百七十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百七十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百七十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百八十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百八十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百八十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百八十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百八十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百八十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百八十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百八十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百八十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百八十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百九十條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百九十一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百九十二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百九十三條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百九十四條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百九十五條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百九十六條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百九十七條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百九十八條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第百九十九條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二百條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二百一條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善ス

第二百二條　煉粉乳工場ノ管理ハ管理工場ノ生産能率ノ增進ニ資スル爲ノ他ノ生産條件ヲ改善

◎運輸省告示第九十六號

昭和二十年八月一日運輸通信省告示第十七號運輸省地下建設本部設置ノ件中左ノ通改正ス

昭和二十年八月一日　運輸大臣　小日山直登

第二項中「地方ニ」ノ上ニ「直轄建設隊及ヒ」ノ加フ

別表中運輸省第一地下建設部隊ノ行ノ前ニ左ノ如ク加フ

運輸省地下建設本部直轄建設隊　東京都芝區

同運輸省第三地下建設部隊ノ行ノ次ニ左ノ如ク加フ

運輸省第四地下建設部隊　新潟縣中魚沼郡千手町

敍任及辭令

◎昭和二十年三月六日

任陸軍司政長官　陸軍司政官　谷口　章

敍高等官一等

◎昭和二十年六月二十五日

任大東亞省通譯官　大使館一等通譯官　大澤　重美

敍高等官四等

◎昭和二十年七月五日

任敍高等官二等　判事　矢頭　喜一

◎昭和二十年七月二十五日

任遞信監　遞信局長　岡本　忠雄

敍高等官二等

任遞信局長　敍高等官二等　運輸省海務官　大野　勝三

敍高等官一等　北海道帝國大學助教授　時田　郁

任北海道帝國大學教授　時田　郁

敍高等官二等　山口師範學校長　三田　主市

任神奈川師範學校長　敍高等官二等　新潟第二師範學校長　井上　宮久

任山口師範學校長　敍高等官二等　德島師範學校教授　蔣美金三郎

敍高等官二等　德島師範學校長　甲藤　襄治

任高知師範學校長　敍高等官二等

任國岡第一師範學校長　高知師範學校長　池上　弘

敍高等官一等　教學錬成所錬成官　志水　襄蹟

任佐賀高等學校長　敍高等官一等　神奈川寄年師範學校長兼神奈川寄年師範學校長　木下　一雄

任教學錬成所錬成官　敍高等官一等　遞信院書記官　加藤　桂一

兼任內閣恩給局書記官　敍高等官四等　遞信院廳　小川　嘉七

任遞信院事務官　敍高等官六等　遞信院書記官　堀　雄一

任遞信局書記官　敍高等官三等　遞信局書記　小林勘十郎　啓輔

（各通）

任遞信局事務官　敍高等官六等　同　遞信事務官　平岡弘一郎

兼任遞信局事務官　敍高等官六等　遞信局書記　鈴木　齊

任遞信局事務官　敍高等官七等　遞信講習所書記　大田　傳一

任遞信講習所事務官　敍高等官七等　遞信院事務官　植木　輝彥

任遞信講習所教官　敍高等官七等　遞信院技師　所　寅雄

（各通）　同　同　渡邊日露司　亮

任遞信局技師　敍高等官五等　同　佐藤

任遞信局技師　敍高等官五等　池田　昌紘

任遞信局技師　敍高等官七等　遞信院技手　松岡　信一

任遞信事務官兼遞信局事務官　石岡　清

敍高等官五等　同　坂井　忠太

通信書記　米田　豊作　同　菊池鐵三郎

同　小澤　廣春　同　長恒　實珍

同　松瀨　四郎　同　濱谷喜久藏

同　折目　喜命

（各通）

同　中井　丹羽　同　鳴　太郎　同　手塚　傳司　同　能夫

同　同　同　

（各通）
朝鮮總督府道技師　鄭文基
朝鮮總督府道理事官　山田和平
朝鮮總督府水産試驗場技師　秋雄英夫
朝鮮總督府理事官　相澤喜平
朝鮮總督府水産試驗場技師　福山定作
同　同　清喜
免本官專任朝鮮總督府理事官　清
同
依願免本官
朝鮮總督府交通局書記　三輪
官舍朝鮮總督府專務官
依願免本官蹟舍官
（各通）
關東局中等學校長　前田正夫
關東州公立中等學校長　山岸榮三郎
陸軍技師兼高等官二等　米重常一
同　同　同
（各通）
關東局事務官　江口長次
關東廳遞信部事務官　市川永男
關東局中等學校教諭　清野謙藏
同　同　同
陸軍技師兼高等官四等　船舶　太一
（各通）
關東局理事官　沼木六三止
關東局視學官　德永保
在滿鐵勤務技師　宇宿廣田
關東廳高等學校教授　樫村喬一
同　同　同
旅順高等學校教授　鈴木三郎
（各通）
同　同　同
大連經濟專門學校教授　池崎幾太郎
同　同　同
大連經濟專門學校教授　大井芳雄
同　同　同
大連經濟專門學校教授　大崎進一
（各通）
同　同　同
大連經濟專門學校教授　伊藤恒夫
同　同　同
旅順醫學專門學校教授　清水來
關東州公立青年學校校長　坂東孟治
陸軍技師兼高等官五等　久松琴
（各通）
關東局事務官　江田正光
同　同　同
關東局理事官　松本敏男
同　同　同
關東局理事官　吉田地精俊
同　同　同
關東局視學官　竹谷福太郎
同　同　同
關東局法院判事官　岡松行雄
（各通）
同　同　同
旅順醫學專門學校教授　小出吉次
同　同　同
旅順醫學專門學校教授　渡口眞清
同　同　同
旅順醫學專門學校教授　山高龍昌

（各通）
朝鮮總督府技師　鄭文基
水産試驗場技師　山田和平
同　同　同
免本官專任朝鮮總督府水産試驗場技師　秋雄英夫
朝鮮總督府理事官　相澤喜平
同　同　同
朝鮮總督府道理事官　福山定作
依願免本官　同　同　清喜
官舍朝鮮總督府專務官　三輪
依願免本官蹟舍官
（各通）
關東局中等學校長　前田正夫
關東州公立中等學校長　山岸榮三郎
陸軍技師兼高等官二等　米重常一
同　同　同
關東局事務官　江口長次
關東廳遞信部事務官　市川永男
關東局中等學校教諭　清野謙藏
同　同　同
陸軍技師兼高等官四等　船舶　太一
（各通）
關東局理事官　沼木六三止
關東局視學官　德永保
在滿鐵勤務技師　宇宿廣田
關東廳高等學校教授　樫村喬一
同　同　同
旅順高等學校教授　鈴木三郎
（各通）
同　同　同
大連經濟專門學校教授　池崎幾太郎
同　同　同
大連經濟專門學校教授　大井芳雄
同　同　同
大連經濟專門學校教授　大崎進一
（各通）
同　同　同
大連經濟專門學校教授　伊藤恒夫
同　同　同
旅順醫學專門學校教授　清水來
關東州公立青年學校校長　坂東孟治
陸軍技師兼高等官五等　久松琴
（各通）
關東局事務官　江田正光
同　同　同
關東局理事官　松本敏男
同　同　同
關東局理事官　吉田地精俊
同　同　同
關東局視學官　竹谷福太郎
同　同　同
關東局法院判事官　岡松行雄
（各通）
同　同　同
旅順醫學專門學校教授　小出吉次
同　同　同
旅順醫學專門學校教授　渡口眞清
同　同　同
旅順醫學專門學校教授　山高龍昌

（各通）
旅順師範學校教授　朝澤元典
新京師範學校教授　竹林泉
陸軍技師兼高等官六等　田宗太郎
同　同　同
陸軍技師兼高等官六等　藤宮祐宜
同　同　同
陸軍技師兼高等官六等　野田誠之
（各通）
陸軍技師兼高等官六等　敏之
陸軍技師兼高等官六等　佐藤
（各通）
陸軍中尉　松尾
陸軍中尉　堀本
陸軍中尉　秋
陸軍技師兼高等官六等　本
（各通）
陸軍技師兼高等官六等　豐
同　同　同
陸軍技術中尉　崇
同　同　同
陸軍技術少尉　瓜生
同　同　同
陸軍技術少尉　正男
同　同　同
陸軍技術少尉　山池益太郎
同　同　同
陸軍技術大尉　盛谷忠郎
同　同　同
陸軍技術大尉　三島貞
同　同　同
陸軍技術大尉　利貞
同　同　同
陸軍技術大尉　盛
（各通）
陸軍技術大尉　秋
同　同　同
陸軍技術大尉　敏之
同　同　同
陸軍技術大尉　良知
同　同　同
陸軍技術大尉　克巳
同　同　同
陸軍技術大尉　敏彌
同　同　同
陸軍技術大尉　明
（各通）
海軍技術大尉　二村
同　同　同
海軍技術大尉　原
同　同　同
海軍技術大尉　波田
（各通）
陸軍少尉　崇
同　同　同
海軍技術少尉　山
同　同　同
海軍技術少尉　大森
（各通）
陸軍技術大尉　梶間
同　同　同
陸軍技術大尉　良知
同　同　同
陸軍技術大尉　克巳
同　同　同
陸軍技術大尉　敏彌
同　同　同
陸軍技術大尉　明
（各通）
海軍技術大尉　二村
同　同　同
海軍技術大尉　原
同　同　同
海軍技術大尉　波田
（各通）
陸軍少尉　崇
同　同　同
海軍技術少尉　山池益太郎
同　同　同
海軍技術少尉　正男
同　同　同
海軍技術少尉　谷忠郎
同　同　同
海軍技術少尉　三島貞
同　同　同
海軍技術少尉　利貞
同　同　同
海軍技術少尉　盛
（各通）
海軍技術少尉　秋
同　同　同
海軍技術少尉　敏之
同　同　同
海軍技術少尉　良知
同　同　同
海軍技術少尉　克巳
同　同　同
海軍技術少尉　敏彌
同　同　同
海軍技術少尉　明
（各通）
海軍技術大尉　二村
同　同　同
海軍技術大尉　原
同　同　同
海軍技術大尉　波田
（各通）
海軍技術大尉　敏彌
同　同　同
海軍技術大

迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年五月三十一日　德山區裁判所

本籍並最後ノ住所福岡縣京都郡延永村大字長晉寺七十四番地　明治三十七年四月七日生　不在者　田中　晉吉

右不在者ニ對シ徴兵關係人兄田中定夫ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年十二月二十四日午前十時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘシ若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月四日　小倉區裁判所

本籍並最後ノ住所福岡縣嘉穗郡二瀬町大字相田九百九十番地　荒牧　佐助

右不在者ニ對シ福岡縣嘉穗郡二瀬町大字相田九百九十番地荒牧ハツヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十二日　飯塚區裁判所

本籍並最後ノ住所鹿兒島縣出水郡出水町武本三千五百六十三番地、最後ノ住所福岡縣嘉穗郡穗波村平恒飯塚炭坑第一區　大正五年二月七日生　不在者　阿田平次郎

右不在者ニ對シ福岡縣嘉穗郡穗波村平恒飯塚炭坑第一區阿田三之助ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十二日　飯塚區裁判所

本籍並最後ノ住所宮崎縣高鍋町大字上江五百五十番地　明治四十年十月十八日生　不在者　藤井鶴太郎

右不在者ニ對シ利害關係人藤井吉二ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十一日　宮崎區裁判所

本籍並最後ノ住所長崎縣東彼杵郡興田村大字沖田宇長瀬　大正二年十月九日生　不在者　岩手　一番地小山三郎

右不在者ニ對シ利害關係人小山たつヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年十二月十七日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十二日　關區裁判所

本籍並最後ノ住所青森縣西津軽郡深浦町大字嶺磯字岡崎六十二番地　明治四十四年十一月二日生　不在者　男

右不在者ニ對シ利害關係人松武吉ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年二月四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十一日　宮崎區裁判所

本籍並最後ノ住所北海道上川郡比布村字比布市街地　明治三十四年十月十八日生　不在者　藤井鶴太郎

右不在者ニ對シ利害關係人藤井吉二ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月九日　旭川區裁判所　判事　高橋仲次郎

本籍並最後ノ住所北海道空知郡上富良野村字上富良野第二安井牧場　大正九年三月四日生　不在者　榮市

右不在者ニ對シ利害關係人大場もよヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年二月十四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ申立ニ因リ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月九日　旭川區裁判所　判事　高橋仲次郎

本籍並最後ノ住所北海道空知郡上富良野村字野花南　明治三十年十月十日生　不在者　藤井鶴太郎

右不在者ニ對シ利害關係人藤井吉二ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年二月十四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月九日　旭川區裁判所　判事　高橋仲次郎

本籍並最後ノ住所福岡縣京都郡延永村大字長晉寺七十四番地　明治三十七年四月七日生　不在者　田中　晉吉

右不在者ニ對シ利害關係人兄田中定夫ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年十二月二十四日午前十時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月四日　小倉區裁判所

本籍並最後ノ住所福岡縣嘉穗郡二瀬町大字相田九百九十番地　荒牧　佐助

右不在者ニ對シ福岡縣嘉穗郡二瀬町大字相田九百九十番地荒牧ハツヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十二日　飯塚區裁判所

本籍並最後ノ住所鹿兒島縣出水郡出水町武本三千五百六十三番地、最後ノ住所福岡縣嘉穗郡穗波村平恒飯塚炭坑第一區　大正五年二月七日生　不在者　阿田平次郎

右不在者ニ對シ福岡縣嘉穗郡穗波村平恒飯塚炭坑第一區阿田三之助ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十二日　飯塚區裁判所

本籍並最後ノ住所宮崎縣高鍋町大字上江五百五十番地　明治四十年十月十八日生　不在者　藤井鶴太郎

右不在者ニ對シ利害關係人小松武吉ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十一日　宮崎區裁判所

本籍並最後ノ住所長崎縣東彼杵郡興田村大字沖田宇長瀬　大正二年十月九日生　不在者　岩手　一番地小山三郎

右不在者ニ對シ利害關係人小山たつヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年十二月十七日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十一日　關區裁判所

本籍並最後ノ住所青森縣西津軽郡深浦町大字嶺磯字岡崎六十二番地　明治四十四年十一月二日生　不在者　男

右不在者ニ對シ利害關係人松武吉ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年二月四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十一日　關區裁判所

本籍並最後ノ住所福岡縣京都郡延永村大字長晉寺七十四番地　明治三十七年四月七日生　不在者　田中　晉吉

右不在者ニ對シ利害關係人兄田中定夫ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年十二月二十四日午前十時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月四日　小倉區裁判所

本籍並最後ノ住所福岡縣嘉穗郡二瀬町大字相田九百九十番地　荒牧　佐助

右不在者ニ對シ福岡縣嘉穗郡二瀬町大字相田九百九十番地荒牧ハツヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十二日　飯塚區裁判所

本籍並最後ノ住所鹿兒島縣出水郡出水町武本三千五百六十三番地、最後ノ住所福岡縣嘉穗郡穗波村平恒飯塚炭坑第一區　大正五年二月七日生　不在者　阿田平次郎

右不在者ニ對シ福岡縣嘉穗郡穗波村平恒飯塚炭坑第一區阿田三之助ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十二日　飯塚區裁判所

本籍並最後ノ住所宮崎縣高鍋町大字上江五百五十番地　明治四十年十月十八日生　不在者　藤井鶴太郎

右不在者ニ對シ利害關係人藤井吉二ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十一日　宮崎區裁判所

本籍並最後ノ住所長崎縣東彼杵郡興田村大字沖田宇長瀬　大正二年十月九日生　不在者　岩手　一番地小山三郎

右不在者ニ對シ利害關係人小山たつヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年十二月十七日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十一日　關區裁判所

本籍並最後ノ住所青森縣西津軽郡深浦町大字嶺磯字岡崎六十二番地　明治四十四年十一月二日生　不在者　男

右不在者ニ對シ利害關係人松武吉ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年二月四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十一日　關區裁判所

本籍並最後ノ住所北海道上川郡比布村字比布市街地　明治三十四年十月十八日生　不在者　藤井鶴太郎

右不在者ニ對シ利害關係人藤井吉二ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月九日　旭川區裁判所　判事　高橋仲次郎

本籍並最後ノ住所北海道空知郡上富良野村字野花南　大正九年三月四日生　不在者　榮市

右不在者ニ對シ利害關係人大場もよヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年二月十四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月九日　旭川區裁判所　判事　高橋仲次郎

本籍並最後ノ住所福岡縣京都郡延永村大字長晉寺七十四番地　明治三十七年四月七日生　不在者　田中　晉吉

右不在者ニ對シ利害關係人兄田中定夫ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年十二月二十四日午前十時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月四日　小倉區裁判所

本籍並最後ノ住所福岡縣嘉穗郡二瀬町大字相田九百九十番地　荒牧　佐助

右不在者ニ對シ福岡縣嘉穗郡二瀬町大字相田九百九十番地荒牧ハツヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十二日　飯塚區裁判所

本籍並最後ノ住所鹿兒島縣出水郡出水町武本三千五百六十三番地、最後ノ住所福岡縣嘉穗郡穗波村平恒飯塚炭坑第一區　大正五年二月七日生　不在者　阿田平次郎

右不在者ニ對シ福岡縣嘉穗郡穗波村平恒飯塚炭坑第一區阿田三之助ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十二日　飯塚區裁判所

本籍並最後ノ住所宮崎縣高鍋町大字上江五百五十番地　明治四十年十月十八日生　不在者　藤井鶴太郎

右不在者ニ對シ利害關係人藤井吉二ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十一年二月十四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十一日　宮崎區裁判所

本籍並最後ノ住所長崎縣東彼杵郡興田村大字沖田宇長瀬　大正二年十月九日生　不在者　岩手　一番地小山三郎

右不在者ニ對シ利害關係人小山たつヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年十二月十七日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十一日　關區裁判所

本籍並最後ノ住所青森縣西津軽郡深浦町大字嶺磯字岡崎六十二番地　明治四十四年十一月二日生　不在者　男

右不在者ニ對シ利害關係人松武吉ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和二十年二月四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和二十年六月十一日　關區裁判所